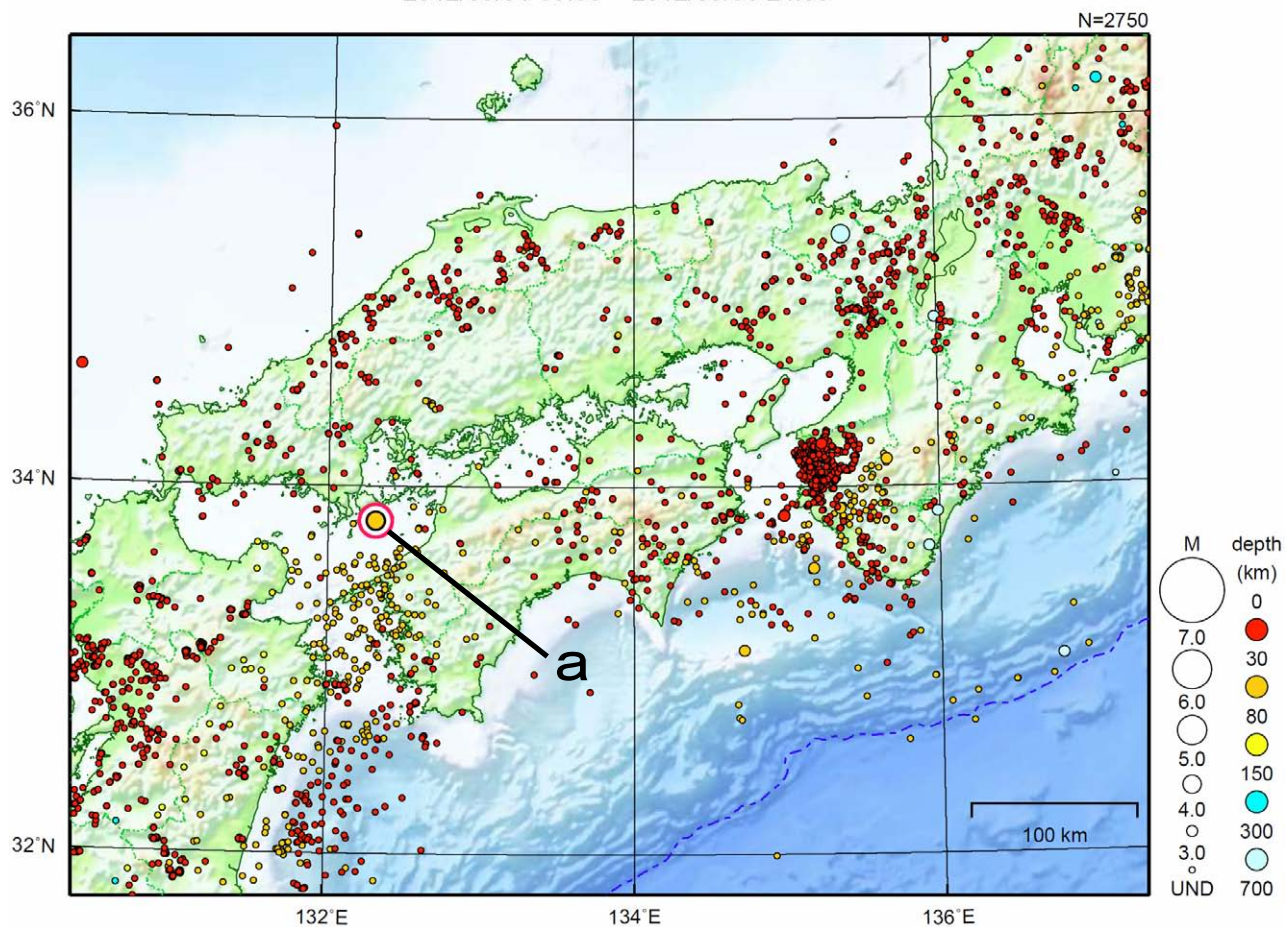


近畿・中国・四国地方

2012/09/01 00:00 ~ 2012/09/30 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

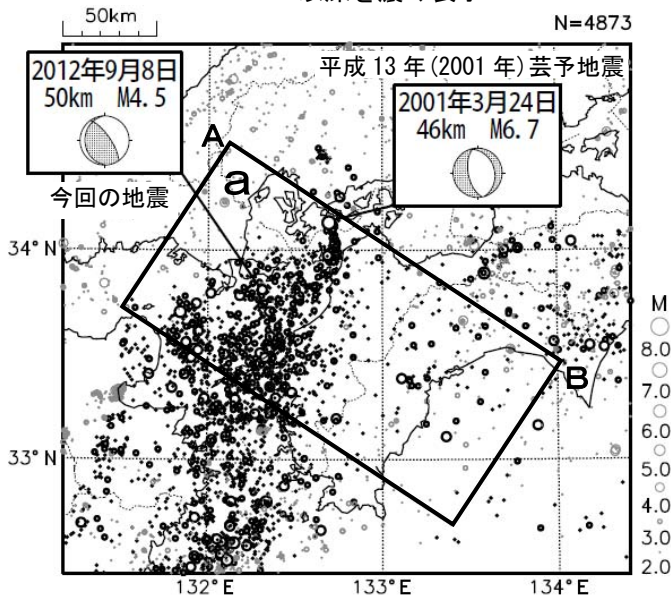
a) 9月8日に伊予灘で M4.5 の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

9月8日 伊予灘の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2012年9月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$)
30km以深を濃く表示

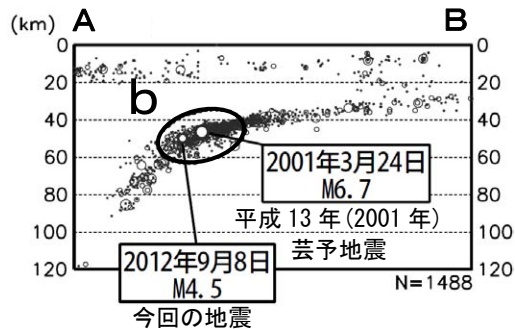


2012年9月8日10時41分に伊予灘の深さ50kmで $M 4.5$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震はフィリピン海プレートの内部で発生した。発震機構は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ型である。

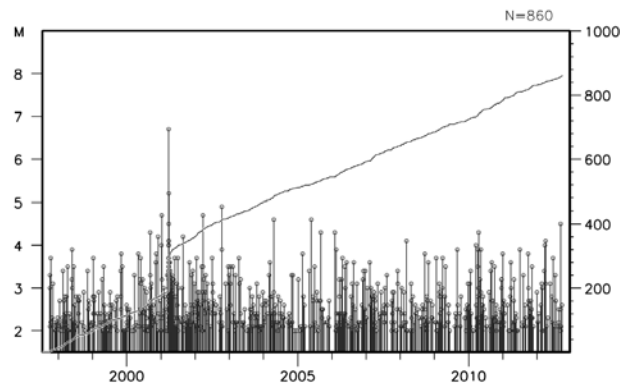
1997年10月以降の活動を見ると、今回の震源付近(領域b)では $M 4.0$ を超える地震が度々発生しており、2001年3月24日には「平成13年(2001年)芸予地震」($M 6.7$ 、最大震度6弱)が発生し、死者2人、負傷者288人、全壊家屋70棟等の被害が生じた(総務省消防庁による)。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生している。

領域a内の断面図 (A-B投影)

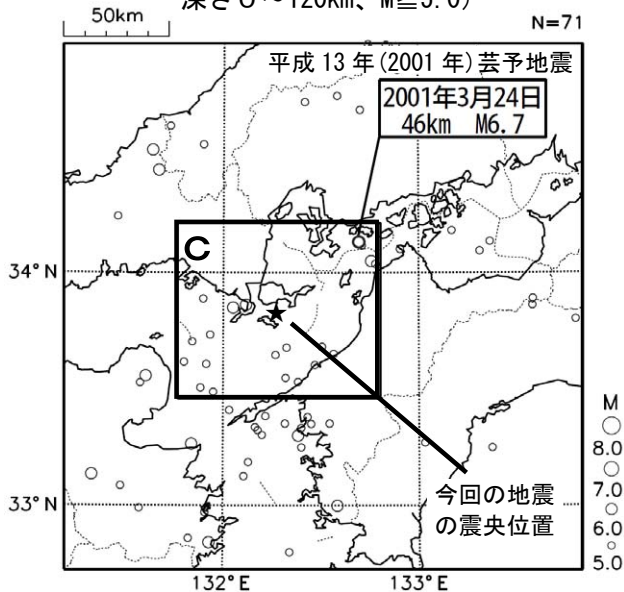


領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図

(1923年1月1日～2012年9月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図

